

野村アクア投資 Aコース／Bコース

運用報告書(全体版)

第33期（決算日2024年3月18日）

作成対象期間（2023年9月20日～2024年3月18日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2007年8月29日以降、無期限とします。	
運用方針	野村アクア マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主として世界の水関連企業（水資源に関わる技術、製品およびサービスの提供等の事業を行なう企業）の株式に投資し、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。	
	実質組入外貨建資産については、原則として、現地通貨による為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。
主な投資対象	野村アクア投資 Aコース／Bコース マザーファンド	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。 世界の水関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村アクア投資 Aコース／Bコース マザーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に原則として、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104
〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

< Aコース >

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込 分配	み 金 騰 落	MSCIワールド・ インデックス(円ヘッジベース)	期 騰 落			
	円	円	%		%	%	%	百万円
29期(2022年3月16日)	17,530	600	△11.9	250.22	△ 6.0	100.0	—	1,066
30期(2022年9月16日)	15,147	450	△11.0	234.49	△ 6.3	98.8	—	969
31期(2023年3月16日)	15,002	400	1.7	233.92	△ 0.2	98.6	—	1,035
32期(2023年9月19日)	14,761	400	1.1	260.13	11.2	98.2	—	768
33期(2024年3月18日)	16,283	450	13.4	290.38	11.6	96.5	—	595

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 参考指数 (=MSCIワールド・インデックス (円ヘッジベース)) は、MSCI World Index (現地通貨ベース) をもとに、当社が独自にヘッジコストを考慮して、円換算したものです。設定時を100として指数化しております。
 * MSCI World Indexは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 (出所: MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	MSCIワールド・ インデックス(円ヘッジベース)	騰落率			
(期首) 2023年9月19日	円	%		%	%	%
	14,761	—	260.13	—	98.2	—
9月末	14,450	△ 2.1	251.77	△ 3.2	95.7	—
10月末	13,334	△ 9.7	242.52	△ 6.8	97.6	—
11月末	14,909	1.0	262.11	0.8	95.2	—
12月末	16,099	9.1	273.55	5.2	95.4	—
2024年1月末	15,829	7.2	280.13	7.7	97.0	—
2月末	16,501	11.8	287.32	10.5	97.4	—
(期末) 2024年3月18日	16,733	13.4	290.38	11.6	96.5	—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Bコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込 分配	み 金 騰 落	期 騰 落	中 率			
	円	円			%	%	%	百万円
29期(2022年3月16日)	18,275	600	△	6.8	283.57	0.0	98.8	8,495
30期(2022年9月16日)	18,435	700		4.7	313.47	10.5	98.4	8,630
31期(2023年3月16日)	17,536	600	△	1.6	300.09	△ 4.3	97.2	8,283
32期(2023年9月19日)	19,336	700		14.3	377.39	25.8	97.6	9,120
33期(2024年3月18日)	22,119	800		18.5	438.21	16.1	96.3	9,930

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=MSCIワールド・インデックス(円換算ベース))は、MSCI World Index(現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。設定時を100として指数化しております。
 *MSCI World Indexは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 (出所:MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	MSCIワールド・ インデックス(円換算ベース)	騰落率		
(期首) 2023年9月19日	円	%		%	%	%
9月末	19,336	—	377.39	—	97.6	—
10月末	19,101	△ 1.2	369.23	△ 2.2	95.1	—
11月末	17,712	△ 8.4	356.90	△ 5.4	97.8	—
12月末	19,806	2.4	384.62	1.9	97.0	—
2024年1月末	20,902	8.1	391.05	3.6	95.2	—
2月末	21,339	10.4	415.52	10.1	96.8	—
2月末	22,736	17.6	435.81	15.5	97.2	—
(期末) 2024年3月18日	22,919	18.5	438.21	16.1	96.3	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

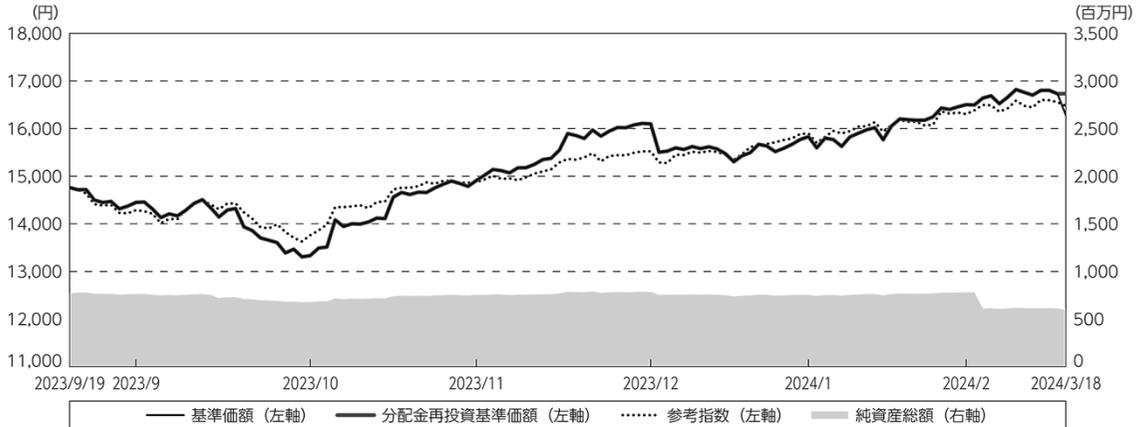
*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

< Aコース >

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：14,761円

期末：16,283円 (既払分配金(税込み)：450円)

騰落率：13.4% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2023年9月19日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、MSCIワールド・インデックス(円ヘッジベース)です。参考指数は、作成期首(2023年9月19日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首14,761円から期末16,283円となりました。

(上昇)

- ・2023年11月、7－9月期の米企業決算において市場予想を上回る決算が相次いだことや、10月の米CPI(消費者物価指数)上昇率が市場予想を下回ったことなど。
- ・2024年1月、FRB(米連邦準備制度理事会)がインフレ状況を判断する上で重視するPCE(個人消費支出)コア価格指数が、2023年12月は前年同月比でほぼ3年ぶりの低い伸びとなったことなど。

(下落)

- ・2023年10月、米下院議長選挙での選出遅れによる混乱や、米大手IT企業の決算において先行き不透明感が強まったことなど。

< Aコース >

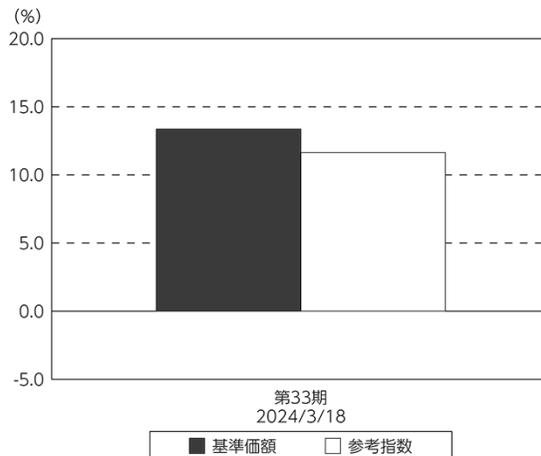
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCIワールド・インデックス（円ヘッジベース）の11.6%の上昇に対し、基準価額は13.4%の上昇となりました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCIワールド・インデックス（円ヘッジベース）です。

○分配金

基準価額水準などを勘案し、1万口当たり450円の収益分配を行ないました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項目	第33期
	2023年9月20日～ 2024年3月18日
当期分配金	450
(対基準価額比率)	2.689%
当期の収益	57
当期の収益以外	392
翌期繰越分配対象額	7,780

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

< Bコース >

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：19,336円

期末：22,119円 (既払分配金(税込み)：800円)

騰落率：18.5% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2023年9月19日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、MSCIワールド・インデックス(円換算ベース)です。参考指数は、作成期首(2023年9月19日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首19,336円から期末22,119円となりました。

(上昇)

- ・2023年11月、7-9月期の米企業決算において市場予想を上回る決算が相次いだことや、10月の米CPI(消費者物価指数)上昇率が市場予想を下回ったことなど。
- ・2024年1月、FRB(米連邦準備制度理事会)がインフレ状況を判断する上で重視するPCE(個人消費支出)コア価格指数が、2023年12月は前年同月比でほぼ3年ぶりの低い伸びとなったことなど。

(下落)

- ・2023年10月、米下院議長選挙での選出遅れによる混乱や、米大手IT企業の決算において先行き不透明感が強まったことなど。

<Bコース>

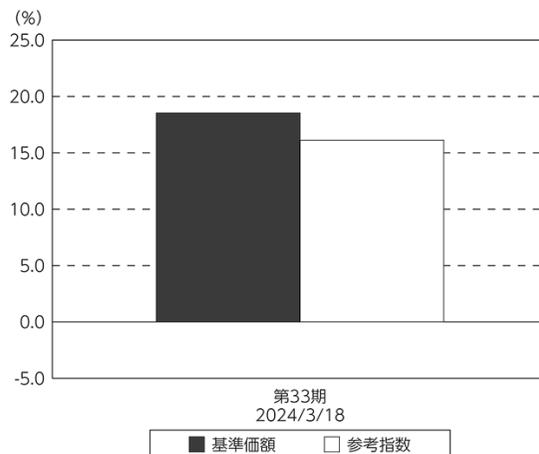
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCIワールド・インデックス（円換算ベース）の16.1%の上昇に対し、基準価額は18.5%の上昇となりました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCIワールド・インデックス（円換算ベース）です。

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、1万口当り800円の収益分配を行ないました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項目	第33期
	2023年9月20日～ 2024年3月18日
当期分配金	800
(対基準価額比率)	3.491%
当期の収益	800
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	12,119

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

< Aコース／Bコース >

○投資環境

期中の世界株式市場は、各国の金融・財政政策の行方やインフレなどの影響を受ける展開となりましたが、期を通じて上昇しました。

○当ファンドのポートフォリオ

[野村アクア投資 Aコース] および [野村アクア投資 Bコース] は、主要投資対象である [野村アクア マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れました。

[野村アクア マザーファンド]**・株式組入比率**

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 主として世界の水関連企業（水資源に関わる技術、製品およびサービスの提供等の事業を行なう企業）の株式を実質的な主要投資対象として参りました。
- (2) 米国の水質事業会社の株式などを新規に購入し、英国の公益事業会社の株式などを全売却しました。また、米国の電力・照明用支柱メーカーの株式などを買い増しし、米国の機器メーカーの株式などを一部売却しました。
- (3) 分野別で見ると、水質の分析や水処理の分野に強気の見通しを持っています。また、建材関連の企業には強気の見通しを持っている一方で、米国やブラジルの公益関連企業については慎重な見方をしています。

[野村アクア投資 Aコース]**・株式組入比率**

実質株式組入比率は、期を通じておおむね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建資産に対して対円での為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図りました。

[野村アクア投資 Bコース]**・株式組入比率**

実質株式組入比率は、期を通じておおむね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行ないませんでした。

<Aコース／Bコース>

◎今後の運用方針

[野村アクア マザーファンド]

当ファンドは世界の水関連企業への投資を行なうことによって、世界の株式市場を上回る運用成果を獲得することを目標としています。過去、水への需要は人口増加を上回るペースで拡大し、その結果、水関連産業は世界のGDP（国内総生産）の伸びを上回るペースでの成長を遂げてきました。

水関連産業は、人口増加、都市化、欧米のインフラの老朽化、アジアの新規インフラの需要、気候変動、水質や衛生面の向上に対するニーズなど、数々のマクロ要因をその成長の原動力にしています。

引き続き世界の水関連企業（水資源に関わる技術、製品およびサービスの提供等の事業を行なう企業）の株式を主要投資対象とし、銘柄選定にあたっては、高い成長が期待される水に関する投資分野に沿った事業を行なう企業の中から、ボトムアップでの調査・分析により、サステナビリティ[※]、バリュエーション、流動性等の観点で踏まえて銘柄を選定する方針を継続します。

※サステナビリティとは、持続的な成長・発展を意味し、当ファンドにおいては、社会全体の持続的な成長・発展への寄与を経済的側面、環境的側面、社会的側面の観点から評価します。

当ファンドでは、水処理や建設・エンジニアリング関連などの景気敏感銘柄と、施設運営や水質・分析などのディフェンシブ（景気に左右されにくい）銘柄にバランスよく投資していく方針です。

[野村アクア投資 Aコース]

主要投資対象である[野村アクア マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

[野村アクア投資 Bコース]

主要投資対象である[野村アクア マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建資産については為替ヘッジを行わない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

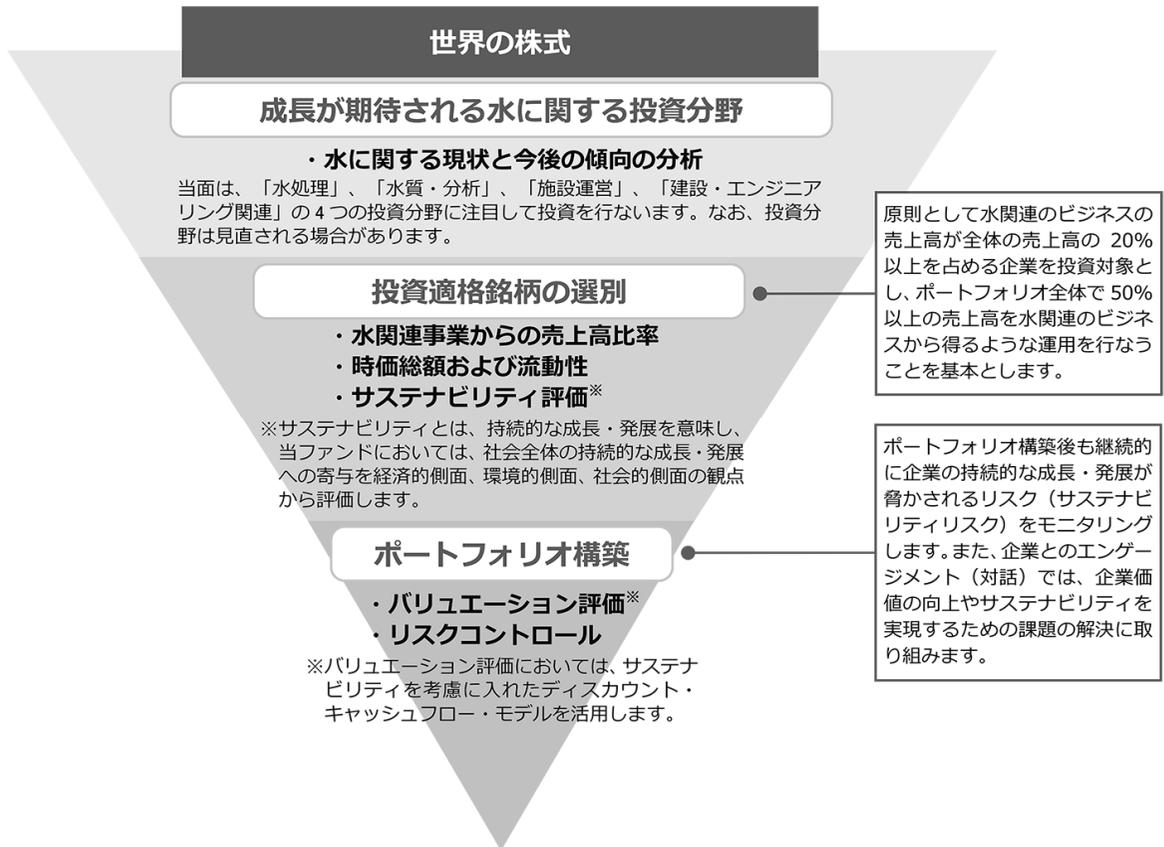
< Aコース/Bコース >

◎（ご参考）マザーファンドのESG運用について

○運用プロセス図

当ファンドは下記のプロセスに基づいて運用されています。

■運用プロセス■



* 上記の運用プロセスは、今後見直す場合があります。

<Aコース／Bコース>

○主要組入銘柄の解説とESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

組み入れ銘柄の紹介・解説になります。

☆アジレント・テクノロジー（米国）

①事業内容

アジレント・テクノロジー（Agilent Technologies, Inc.）は電子計測機器メーカーです。通信、エレクトロニクス、ライフサイエンス、化学分析産業向けにバイオ分析と電子計測のソリューションを手掛けています。

②ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

同社製品は、飲料水、廃水、下水、土壌、空気中における有害物質検出に優位性があり、さまざまな分野において幅広く提供されています。また大学や民間企業などと積極的に連携し、ライフサイエンス技術の飛躍的な進展とすべての人々の生活の質の向上を推進している点も高く評価しています。

☆ザイレム（米国）

①事業内容

ザイレム（Xylem, Inc.）は上下水道関連会社です。集水、給水、利用から自然に戻るまでの循環全体に適用される上下水道用の機器およびサービスを設計、製造、販売しています。

②ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

水の有効利用・水処理・水の再利用を可能にする技術の開発および提供を通じて、世界の水問題の解決に貢献しています。同社は水のライフサイクル全体に対して事業を行っており、さらに農業・かんがい、水産、スマートインフラといった様々な業界において、汚染の削減や保健衛生、持続可能な社会の促進などに寄与する製品やソリューションを提供している点を評価しています。

☆ヴェオリア・エンバイロメント（フランス）

①事業内容

ヴェオリア・エンバイロメント（Veolia Environnement）は環境関連サービス会社です。エコロジカル・トランスフォーメーション（環境変革）サービスに従事しており、水、廃棄物、およびエネルギー管理ソリューションを設計、提供しています。

②ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

建物やインフラ向けの制御システムと管理サービスを通じ、エネルギーの節約に貢献していることを評価しています。スマートシティ（ITを活用した次世代都市）、建物向けエネルギーサービス、エンジニアリング、設計・施工、エネルギー配給などの事業を通じて、自治体や民間企業と連携し持続可能な都市やコミュニティの発展への貢献も期待できます。

< Aコース／Bコース >

○当ファンドにおけるサステナブル投資

①SDGs（持続可能な開発目標）スコアの活用

ファンドが活用する「SDGs※¹貢献度評価（SDGsフレームワーク）」※²では、トップダウンによる業界固有の基準とボトムアップによる企業固有の要因に基づいて企業を分析し、企業のSDGsへの貢献度を7段階（-3～+3で評価、0（ゼロ）：中立）で評価します。

2023年12月末時点のポートフォリオにおいて、SDGsスコアがネガティブな銘柄への投資は行なわれませんでした。

【ポートフォリオのSDGsスコア分布（純資産総額に対する投資比率）】

SDGsスコア	3	2	1	0	-1	-2	-3
投資比率(%)	7.2	64.8	21.7	1.7	0	0	0

※1 SDGsとは持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）のことをいいます。

※2 SDGs貢献度評価（SDGsフレームワーク）は企業のSDGsへの貢献度を評価するロベコ・グループの独自スコアです。

（出所）ロベコ

②清潔で安全かつ持続可能な水供給への貢献

2023年12月末時点のポートフォリオでは、SDGsにおける水資源に関連する項目の貢献度が中立を超えていることが確認できます。

【ポートフォリオにおける水資源に関連する項目に対する貢献度（純資産総額に対する投資比率）】

	貢献度ポジティブへの投資比率 (SDGsスコア 1～3)	貢献度ネガティブへの投資比率 (SDGsスコア -3～-1)
3. すべての人に健康と福祉を	19.8%	0%
6. 安全な水とトイレを世界中に	39.3%	0%

（出所）ロベコ

③国連グローバルコンパクトに関して

2023年12月末時点のポートフォリオにおいて、国連グローバルコンパクトに反している銘柄への投資は行なわれませんでした。

（出所）ロベコ

<Aコース／Bコース>

④社会へ与えるインパクトに関して

2023年12月末時点において、当ファンドへの投資が与える水関連の社会的インパクトをご紹介します。

- ・100万円を投資した場合、約4.5万リットルのきれいな飲料水の供給に貢献しています
- ・100万円を投資した場合、約4.1万リットルの効率的なソリューションによる節水に貢献しています
- ・100万円を投資した場合、約5.8万リットルの排水処理に貢献しています

<インパクトの算出について>

インパクトの算出にあたっては2023年12月29日現在「野村アクア マザーファンド」が投資していた企業のうちポートフォリオの市場価値の42.7%に相当する22社の集計値を使用しています。

集計値は、ファンドで投資している企業から取得可能なデータまたは取得可能なデータがない場合には推定値を作成して算出しています。

2023年12月29日現在の投資先企業ごとの投資比率に応じて、その後1年間保有を続けた前提でファンドへの水に関わる貢献度を測定しています。

インパクトの測定分野は以下となります。

- ・きれいな飲料水の供給量
- ・効率的なソリューションによる節水量
- ・排水処理量

各数値は年次報告書等各企業が公表している情報、政府機関組織、業界、NGOや学術等によって報告された統計や研究結果に加えてロベコのサステナブル投資アナリストによる推計からデータを集計し、評価を行ないました。

ファンドのインパクトは保有する株式に応じて変わる可能性があります。また、インパクトは推定値であるため、誤差が生じる場合があります。

(出所) ロベコ

<Aコース／Bコース>

○ステュワードシップ活動

ファンドでは、エンゲージメントと議決権行使を通じて、投資先企業の企業価値向上に資する、長期的な株式利益を尊重した経営を行なうよう求めます。

ロベコ・グループがエンゲージメントを担当し、野村アセットマネジメントが議決権行使を担当します。

ロベコ・グループのエンゲージメント活動の詳細は、以下のサイト（「野村アセットマネジメントの主なESGファンド」）内、「外部委託ファンドのステュワードシップ方針/ステュワードシップ活動」にある「野村アクア投資」の「ステュワードシップの活動はこちら」より、ロベコ・ジャパン株式会社のサイトにアクセスいただくと、ご覧いただけます。

<https://www.nomura-am.co.jp/special/esg/strategy/esglineup.html#esglineup4>

野村アセットマネジメントの議決権行使の詳細は、以下のサイト「野村アセットマネジメントの責任投資」にアクセスいただくと、ご覧いただけます。

<https://www.nomura-am.co.jp/special/esg/>

<Aコース>

○1万口当たりの費用明細

(2023年9月20日～2024年3月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	132	0.870	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(66)	(0.435)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(58)	(0.381)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(8)	(0.054)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.006	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(1)	(0.006)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	2	0.012	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(2)	(0.012)	
(d) そ の 他 費 用	8	0.051	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(7)	(0.047)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.003)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	143	0.939	
期中の平均基準価額は、15,187円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

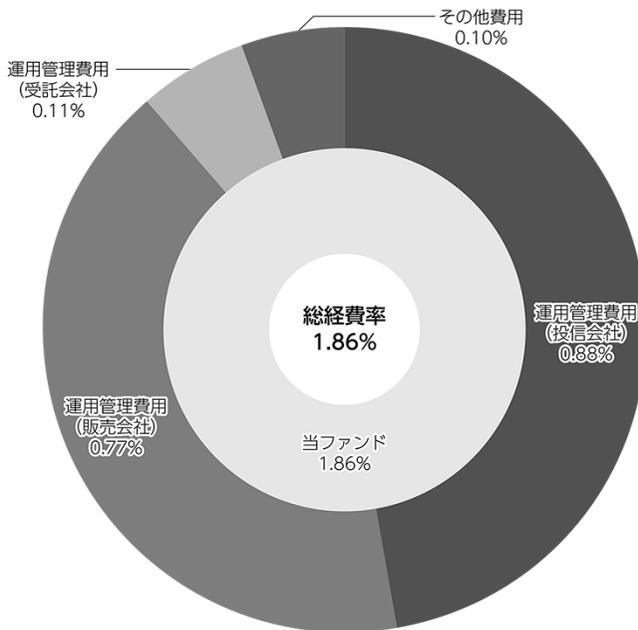
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

< Aコース >

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.86%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託事務の処理に要するその他の諸費用等が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

< Aコース >

○売買及び取引の状況

(2023年9月20日～2024年3月18日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村アクア マザーファンド	千口 26,441	千円 99,700	千口 101,739	千円 404,100

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2023年9月20日～2024年3月18日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	野村アクア マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	4,370,950千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	10,047,255千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.43

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2023年9月20日～2024年3月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年3月18日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村アクア マザーファンド	千口 213,054	千口 137,756	千円 592,132

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

< Aコース >

○投資信託財産の構成

(2024年3月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村アクア マザーファンド	592,132	95.4
コール・ローン等、その他	28,258	4.6
投資信託財産総額	620,390	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*野村アクア マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（10,561,647千円）の投資信託財産総額（10,930,383千円）に対する比率は96.6%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=149.32円、1英ポンド=190.13円、1スイスフラン=168.99円、1スウェーデンクローナ=14.40円、1ユーロ=162.58円、1香港ドル=19.09円、1ウォン=0.1123円、1豪ドル=97.95円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年3月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,179,302,911
コール・ローン等	4,234,790
野村アクア マザーファンド(評価額)	592,132,359
未収入金	582,935,762
(B) 負債	583,890,647
未払金	560,840,613
未払収益分配金	16,454,546
未払解約金	141,497
未払信託報酬	6,441,969
その他未払費用	12,022
(C) 純資産総額(A-B)	595,412,264
元本	365,656,589
次期繰越損益金	229,755,675
(D) 受益権総口数	365,656,589口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,283円

(注) 期首元本額は520,606,361円、期中追加設定元本額は18,479,859円、期中一部解約元本額は173,429,631円、1口当たり純資産額は1.6283円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額25,628,914円。(野村アクア マザーファンド)

○損益の状況 (2023年9月20日～2024年3月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 676
支払利息	△ 676
(B) 有価証券売買損益	78,221,518
売買益	181,395,490
売買損	△103,173,972
(C) 信託報酬等	△ 6,730,373
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	71,490,469
(E) 前期繰越損益金	△ 36,158,218
(F) 追加信託差損益金	210,877,970
(配当等相当額)	(222,273,613)
(売買損益相当額)	(△ 11,395,643)
(G) 計(D+E+F)	246,210,221
(H) 収益分配金	△ 16,454,546
次期繰越損益金(G+H)	229,755,675
追加信託差損益金	210,877,970
(配当等相当額)	(222,286,838)
(売買損益相当額)	(△ 11,408,868)
分配準備積立金	62,208,926
繰越損益金	△ 43,331,221

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

< Aコース >

(注) 分配金の計算過程 (2023年9月20日～2024年3月18日) は以下の通りです。

項 目	当 期
	2023年9月20日～ 2024年3月18日
a. 配当等収益(経費控除後)	2,103,367円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	222,286,838円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	76,560,105円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	300,950,310円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	8,230円
g. 分配金	16,454,546円
h. 分配金(1万円当たり)	450円

○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金(税込み)	450円
----------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

○お知らせ

- ①運用の基本方針において、デリバティブ取引の利用目的を明確化する所要の約款変更を行ないました。
 <変更適用日：2023年12月14日>
- ②信託期間を「2025年9月16日まで」から「無期限」に変更する所要の約款変更を行ないました。
 <変更適用日：2023年12月14日>

<Bコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年9月20日～2024年3月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	176	0.870	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(88)	(0.435)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(77)	(0.381)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(11)	(0.054)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.006	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(1)	(0.006)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	3	0.012	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(3)	(0.012)	
(d) そ の 他 費 用	3	0.015	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.002)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	183	0.903	
期中の平均基準価額は、20,266円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

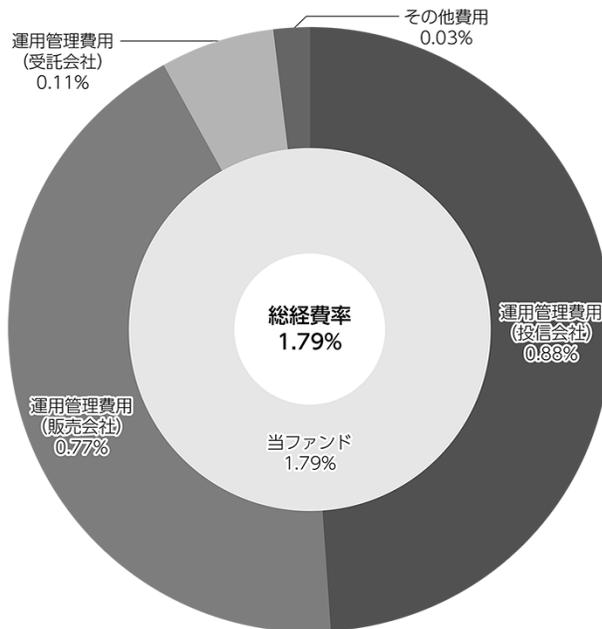
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Bコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.79%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託事務の処理に要するその他の諸費用等が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Bコース>

○売買及び取引の状況

(2023年9月20日～2024年3月18日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村アクア マザーファンド	千口 68,585	千円 250,900	千口 287,376	千円 1,193,700

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2023年9月20日～2024年3月18日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	野村アクア マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	4,370,950千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	10,047,255千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.43

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2023年9月20日～2024年3月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年3月18日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村アクア マザーファンド	千口 2,512,353	千口 2,293,562	千円 9,858,649

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

<Bコース>

○投資信託財産の構成

(2024年3月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村アクア マザーファンド	9,858,649	95.0
コール・ローン等、その他	518,637	5.0
投資信託財産総額	10,377,286	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*野村アクア マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（10,561,647千円）の投資信託財産総額（10,930,383千円）に対する比率は96.6%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=149.32円、1英ポンド=190.13円、1スイスフラン=168.99円、1スウェーデンクローナ=14.40円、1ユーロ=162.58円、1香港ドル=19.09円、1ウォン=0.1123円、1豪ドル=97.95円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年3月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	10,377,286,946
コール・ローン等	72,037,811
野村アクア マザーファンド(評価額)	9,858,649,135
未収入金	446,600,000
(B) 負債	446,426,211
未払収益分配金	359,175,795
未払解約金	3,070,232
未払信託報酬	84,022,695
未払利息	6
その他未払費用	157,483
(C) 純資産総額(A-B)	9,930,860,735
元本	4,489,697,440
次期繰越損益金	5,441,163,295
(D) 受益権総口数	4,489,697,440口
1万口当たり基準価額(C/D)	22,119円

(注) 期首元本額は4,716,696,234円、期中追加設定元本額は163,868,272円、期中一部解約元本額は390,867,066円、1口当たり純資産額は2,2119円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額25,628,914円。(野村アクア マザーファンド)

○損益の状況 (2023年9月20日~2024年3月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 8,930
支払利息	△ 8,930
(B) 有価証券売買損益	1,685,729,693
売買益	1,777,618,371
売買損	△ 91,888,678
(C) 信託報酬等	△ 84,180,178
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,601,540,585
(E) 前期繰越損益金	2,925,398,757
(F) 追加信託差損益金	1,273,399,748
(配当等相当額)	(1,259,904,342)
(売買損益相当額)	(13,495,406)
(G) 計(D+E+F)	5,800,339,090
(H) 収益分配金	△ 359,175,795
次期繰越損益金(G+H)	5,441,163,295
追加信託差損益金	1,273,399,748
(配当等相当額)	(1,260,017,776)
(売買損益相当額)	(13,381,972)
分配準備積立金	4,167,763,547

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<Bコース>

(注) 分配金の計算過程 (2023年9月20日～2024年3月18日) は以下の通りです。

項 目	当 期
	2023年9月20日～ 2024年3月18日
a. 配当等収益(経費控除後)	35,306,904円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	1,566,233,681円
c. 信託約款に定める収益調整金	1,273,399,748円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	2,925,398,757円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	5,800,339,090円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	12,919円
g. 分配金	359,175,795円
h. 分配金(1万円当たり)	800円

○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金(税込み)	800円
----------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

○お知らせ

- ①運用の基本方針において、デリバティブ取引の利用目的を明確化する所要の約款変更を行ないました。
 <変更適用日：2023年12月14日>
- ②信託期間を「2025年9月16日まで」から「無期限」に変更する所要の約款変更を行ないました。
 <変更適用日：2023年12月14日>

野村アクア マザーファンド

運用報告書

第17期（決算日2024年3月18日）

作成対象期間（2023年3月17日～2024年3月18日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として、世界の水関連企業（水資源に関わる技術、製品およびサービスの提供等の事業を行なう企業）の株式に投資し、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。株式への投資にあたっては、高い成長が期待される水に関する投資分野に沿った事業を行なう企業の中から、ボトムアップでの調査・分析により、サステナビリティ、バリュエーション、流動性等の観点を踏まえて銘柄を選定し、ポートフォリオを構築します。株式の組入比率は、高位（フルインベストメント）を基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	世界の水関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株組入比率	株先物比率	純資産額
	騰落	中率	MSCIワールド・インデックス(円換算ベース)	騰落中率			
	円	%		%	%	%	百万円
13期(2020年3月16日)	15,794	△13.3	161.52	△12.5	97.7	—	6,404
14期(2021年3月16日)	27,013	71.0	252.95	56.6	97.8	—	9,366
15期(2022年3月16日)	29,729	10.1	283.57	12.1	99.5	—	9,512
16期(2023年3月16日)	31,120	4.7	300.09	5.8	98.3	—	9,232
17期(2024年3月18日)	42,984	38.1	438.21	46.0	97.0	—	10,450

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*参考指数(=MSCIワールド・インデックス(円換算ベース))は、MSCI World Index(現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。設定時を100として指数化しております。
 *MSCI World Indexは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 (出所:MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

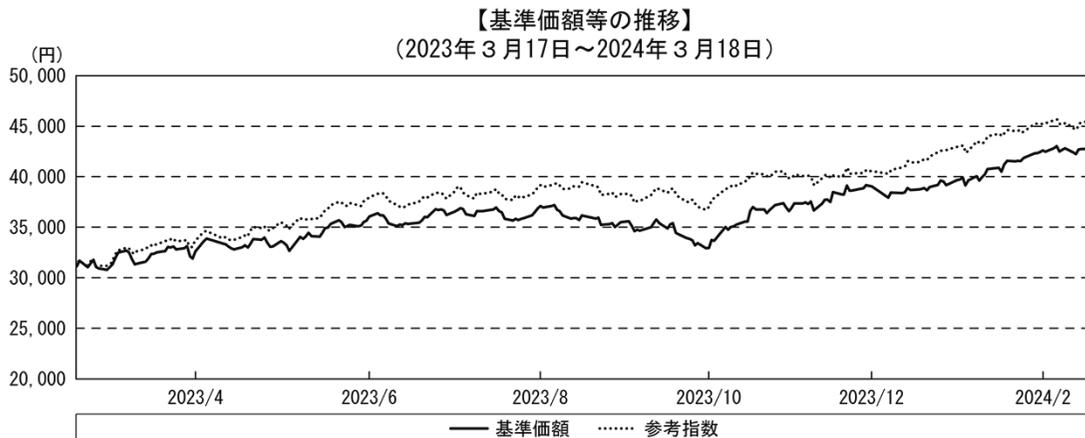
年月日	基準価額		参考指数		株組入比率	株先物比率
	騰落	率	MSCIワールド・インデックス(円換算ベース)	騰落率		
(期首) 2023年3月16日	円	%		%	%	%
	31,120	—	300.09	—	98.3	—
3月末	32,478	4.4	315.17	5.0	97.4	—
4月末	32,581	4.7	323.89	7.9	97.7	—
5月末	33,191	6.7	339.14	13.0	98.3	—
6月末	36,052	15.8	365.86	21.9	97.8	—
7月末	36,530	17.4	371.46	23.8	95.7	—
8月末	37,098	19.2	377.59	25.8	96.6	—
9月末	35,500	14.1	369.23	23.0	96.0	—
10月末	32,949	5.9	356.90	18.9	98.5	—
11月末	36,926	18.7	384.62	28.2	97.7	—
12月末	39,036	25.4	391.05	30.3	95.7	—
2024年1月末	39,918	28.3	415.52	38.5	97.2	—
2月末	42,599	36.9	435.81	45.2	97.5	—
(期末) 2024年3月18日	円	%		%	%	%
	42,984	38.1	438.21	46.0	97.0	—

*騰落率は期首比です。

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、MSCIワールド・インデックス（円換算ベース）です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首31,120円から期末42,984円となりました。

(上昇)

- ・ 2023年11月、7－9月期の米企業決算において市場予想を上回る決算が相次いだことや、10月の米CPI（消費者物価指数）上昇率が市場予想を下回ったことなど。
- ・ 2024年1月、FRB（米連邦準備制度理事会）がインフレ状況を判断する上で重視するPCE（個人消費支出）コア価格指数が、2023年12月は前年同月比でほぼ3年ぶりの低い伸びとなったことなど。

(下落)

- ・ 2023年9月、FOMC（米連邦公開市場委員会）において政策金利の据え置きが決定されたものの、年内に追加利上げを行ない、高い金利水準の維持が示唆されたことなど。
- ・ 2023年10月、米下院議長選挙での選出遅れによる混乱や、米大手IT企業の決算において先行き不透明感が強まったことなど。

○当ファンドのポートフォリオ

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

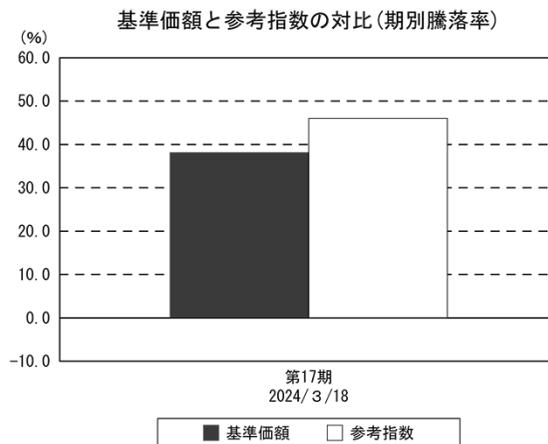
- (1) 主として世界の水関連企業（水資源に関わる技術、製品およびサービスの提供等の事業を行なう企業）の株式を実質的な主要投資対象として参りました。
- (2) 米国の水質事業会社の株式などを新規に購入し、米国の排水管メーカーの株式などを全売却しました。また、米国の廃棄物処理会社の株式などを買い増しし、米国の科学関連製品メーカーの株式などを一部売却しました。
- (3) 分野別で見ると、水質の分析や水処理の分野に強気の見通しを持っています。また、米国の建材関連には強気の見通しを持っている一方で、米国やブラジルの公益関連については慎重な見方をしています。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCIワールド・インデックス（円換算ベース）の46.0%の上昇に対し、基準価額は38.1%の上昇となりました。



(注) 参考指数は、MSCIワールド・インデックス（円換算ベース）です。

◎今後の運用方針

当ファンドは世界の水関連企業への投資を行なうことによって、世界の株式市場を上回る運用成果を獲得することを目標としています。過去、水への需要は人口増加を上回るペースで拡大し、その結果、水関連産業は世界のGDP（国内総生産）の伸びを上回るペースでの成長を遂げてきました。

水関連産業は、人口増加、都市化、欧米のインフラの老朽化、アジアの新規インフラ需要、気候変動、水質や衛生面の向上に対するニーズなど、数々のマクロ要因をその成長の原動力にしています。

引き続き世界の水関連企業（水資源に関わる技術、製品およびサービスの提供等の事業を行なう企業）の株式を主要投資対象とし、銘柄選定にあたっては、高い成長が期待される水に関する投資分野に沿った事業を行なう企業の中から、ボトムアップでの調査・分析により、サステナビリティ[※]、バリュエーション、流動性等の観点を踏まえて銘柄を選定する方針を継続します。

※サステナビリティとは、持続的な成長・発展を意味し、当ファンドにおいては、社会全体の持続的な成長・発展への寄与を経済的側面、環境的側面、社会的側面の観点から評価します。

当ファンドでは、水処理や建設・エンジニアリング関連などの景気敏感銘柄と、施設運営や水質・分析などのディフェンシブ（景気に左右されにくい）銘柄にバランスよく投資していく方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年3月17日～2024年3月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 4 (4)	% 0.012 (0.012)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	7 (7)	0.019 (0.019)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	8 (7) (1)	0.022 (0.020) (0.002)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	19	0.053	
期中の平均基準価額は、36,238円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年3月17日～2024年3月18日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株	千円	千株	千円
		9 (19)	47,170 (ー)	14	78,593
外 国	アメリカ	百株 1,968 (161)	千米ドル 16,384 (1,828)	百株 3,140	千米ドル 26,942
	イギリス	840	千英ポンド 1,619	732 (136)	千英ポンド 1,967 (1,444)
	スイス	84 (74)	千スイスフラン 1,054 (ー)	154	千スイスフラン 2,977
	スウェーデン	1,672	千スウェーデンクローナ 8,683	188	千スウェーデンクローナ 1,588
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	ー	ー	15	534
	イタリア	133	257	3	5
	フランス	205	848	210	855
	スイス	ー (89)	ー (1,001)	89	905
	オランダ	472	642	64 (89)	287 (1,010)
フィンランド	43	69	239	560	
香港	2,044	千香港ドル 2,437	5,258	千香港ドル 3,848	
オーストラリア	96	千豪ドル 42	347	千豪ドル 171	

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

*()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2023年3月17日～2024年3月18日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	8,770,801千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	10,018,342千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.87

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2023年3月17日～2024年3月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年3月18日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	金 額	株 数	評 価 額
化学 (19.3%)	千株		千株	千円
積水化学工業	29.3		21.2	45,696
金属製品 (48.4%)				
リンナイ	9.7		33.1	114,956
機械 (21.8%)				
栗田工業	8.6		8.1	51,864
電気・ガス業 (10.5%)				
メタウォーター	11		11	24,904
合 計	株 数	金 額	株 数	評 価 額
	58		73	237,421
	銘 柄 数 < 比 率 >		4	< 2.3% >

*各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。

*銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

*評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当期		業種等	
	株数	株数	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
API GROUP CORP	61	—	—	—	建設・土木	
AECOM	120	135	1,239	185,101	建設・土木	
ADVANCED DRAINAGE SYSTEMS INC	136	—	—	—	建設関連製品	
AGILENT TECHNOLOGIES INC	170	223	3,299	492,647	ライフサイエンス・ツール/サービス	
AMERICAN STATES WATER CO	—	63	456	68,201	水道	
AMERICAN WATER WORKS CO INC	34	128	1,501	224,256	水道	
ANSYS INC	47	27	901	134,588	ソフトウェア	
APPLIED INDUSTRIAL TECH INC	57	32	623	93,169	商社・流通業	
AUTODESK INC.	60	34	889	132,757	ソフトウェア	
AVANTOR INC	1,370	1,168	2,929	437,439	ライフサイエンス・ツール/サービス	
BENTLEY SYSTEMS INC-CLASS B	88	77	379	56,599	ソフトウェア	
CINTAS CORP	18	19	1,237	184,831	商業サービス・用品	
CLEAN HARBORS INC	12	59	1,116	166,746	商業サービス・用品	
COMFORT SYSTEMS USA INC	38	—	—	—	建設・土木	
CORE & MAIN INC-CLASS A	550	240	1,225	183,005	商社・流通業	
DANAHER CORP	144	45	1,142	170,635	ライフサイエンス・ツール/サービス	
DOVER CORP	100	77	1,365	203,836	機械	
ECOLAB INC	115	77	1,751	261,531	化学	
ENERGY RECOVERY INC	101	126	188	28,079	機械	
FEDERAL SIGNAL CORP	137	70	553	82,662	機械	
FORTUNE BRANDS INNOVATIONS INC	197	149	1,196	178,676	建設関連製品	
FRANKLIN ELECTRIC CO INC	42	88	896	133,923	機械	
HERITAGE-CRYSTAL CLEAN INC	67	—	—	—	商業サービス・用品	
ICF INTERNATIONAL INC	30	27	423	63,258	専門サービス	
IDEX CORP	55	52	1,250	186,758	機械	
INGERSOLL-RAND INC	180	71	651	97,224	機械	
INTERNATIONAL FLAVORS & FRAGRANCE	67	—	—	—	化学	
LINDSAY CORP	—	27	313	46,882	機械	
MASCO CORP	186	116	864	129,117	建設関連製品	
METTLER-TOLEDO INTL	7	10	1,384	206,666	ライフサイエンス・ツール/サービス	
REVVITY INC	3	—	—	—	ライフサイエンス・ツール/サービス	
RESIDEO TECHNOLOGIES INC	220	204	462	69,079	建設関連製品	
ROPER TECHNOLOGIES INC	19	11	655	97,831	ソフトウェア	
SPX TECHNOLOGIES INC	—	36	421	62,976	機械	
SMITH (A. O.) CORP	278	191	1,670	249,461	建設関連製品	
STERICYCLE INC	163	171	898	134,119	商業サービス・用品	
TETRA TECH INC	48	52	935	139,684	商業サービス・用品	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	66	20	1,179	176,195	ライフサイエンス・ツール/サービス	
TRIMBLE INC	138	—	—	—	電子装置・機器・部品	
VALMONT INDUSTRIES	—	29	642	95,998	建設・土木	
VERALTO CORP	—	328	2,839	423,934	商業サービス・用品	
WATERS CORP	47	44	1,584	236,547	ライフサイエンス・ツール/サービス	
WATTS WATER TECHNOLOGIES -A	31	13	279	41,740	機械	
XYLEM INC	114	239	3,043	454,441	機械	
FERGUSON PLC	—	113	2,348	350,664	商社・流通業	
PENTAIR PLC	557	267	2,156	321,976	機械	
小計	株数・金額	5,888	4,878	46,900	7,003,249	
	銘柄数<比率>	40	39	—	<67.0%>	

銘柄	株数	当期		業種等		
		株数	金額			
		外貨建金額	邦貨換算金額			
(イギリス)	百株	百株	千英ポンド	千円		
HALMA PLC	420	407	901	171,435	電子装置・機器・部品	
WEIR GROUP PLC	—	281	566	107,616	機械	
INTERTEK GROUP PLC	94	—	—	—	専門サービス	
SEVERN TRENT PLC	178	—	—	—	水道	
UNITED UTILITIES GROUP PLC	523	389	411	78,311	水道	
MARLOWE PLC	210	210	109	20,762	専門サービス	
IMI PLC	219	427	767	145,919	機械	
FERGUSON PLC	157	—	—	—	商社・流通業	
GENUIT GROUP PLC	500	539	224	42,647	建設関連製品	
VICTORIAN PLUMBING PLC	720	720	56	10,664	専門小売り	
SPIRAX-SARCO ENGINEERING PLC	46	66	703	133,714	機械	
小計	株数・金額	3,069	3,041	3,739	711,071	
	銘柄数<比率>	10	8	—	<6.8%>	
(スイス)			千スイスフラン			
SGS SA-REG	3	—	—	—	専門サービス	
GEBERIT AG-REG	48	26	1,375	232,519	建設関連製品	
SIKA AG-REG	45	35	943	159,368	化学	
FISCHER(GEORG)-REG	134	175	1,210	204,580	機械	
BELIMO HOLDING AG - REG	7	6	314	53,221	建設関連製品	
小計	株数・金額	239	243	3,844	649,690	
	銘柄数<比率>	5	4	—	<6.2%>	
(スウェーデン)			千スウェーデンクローナ			
HUSQVARNA AB-B SHS	453	341	2,866	41,278	機械	
NIBE INDUSTRIER AB-B SHS	—	769	4,244	61,127	建設関連製品	
NORVA24 GROUP AB	—	670	1,698	24,457	商業サービス・用品	
BRAVIDA HOLDING AB	406	563	5,276	75,983	商業サービス・用品	
小計	株数・金額	860	2,343	14,086	202,847	
	銘柄数<比率>	2	4	—	<1.9%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
SARTORIUS AG-VORZUG	15	—	—	—	ライフサイエンス・ツール/サービス	
小計	株数・金額	15	—	—	—	
	銘柄数<比率>	1	—	—	<—%>	
(ユーロ…イタリア)						
INDUSTRIE DE NORA SPA	—	130	185	30,166	機械	
小計	株数・金額	—	130	185	30,166	
	銘柄数<比率>	—	1	—	<0.3%>	
(ユーロ…フランス)						
VEOLIA ENVIRONNEMENT	881	876	2,563	416,854	総合公益事業	
小計	株数・金額	881	876	2,563	416,854	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<4.0%>	
(ユーロ…オランダ)						
ARCADIS NV	109	124	706	114,810	専門サービス	
KONINKLIJKE DSM NV	89	—	—	—	化学	
AALBERTS NV	247	275	1,199	195,094	機械	
ARISTON HOLDING NV	—	364	221	35,966	家庭用耐久財	
小計	株数・金額	446	764	2,127	345,871	
	銘柄数<比率>	3	3	—	<3.3%>	
(ユーロ…フィンランド)						
KEMIRA OYJ	227	200	338	55,104	化学	
UPONOR OYJ	144	—	—	—	建設関連製品	

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末		業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		評 価 額
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…フィンランド)		百株	百株	千ユーロ	千円	
VALMET OYJ		332	307	769	125,097	機械
小 計	株 数 ・ 金 額	704	508	1,108	180,201	
	銘 柄 数 < 比 率 >	3	2	—	<1.7%>	
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額	2,047	2,279	5,985	973,094	
	銘 柄 数 < 比 率 >	8	7	—	<9.3%>	
(香港)				千香港ドル		
GUANGDONG INVESTMENT		9,030	5,650	2,723	51,987	水道
CHINA LESSO GROUP HOLDINGS LTD		2,550	2,550	1,004	19,119	建設関連製品
HAIER SMART HOME CO LTD-H		3,808	3,974	9,398	179,417	家庭用耐久財
小 計	株 数 ・ 金 額	15,388	12,174	13,126	250,585	
	銘 柄 数 < 比 率 >	3	3	—	<2.4%>	
(オーストラリア)				千豪ドル		
RELIANCE WORLDWIDE CORP LTD		2,260	2,008	1,130	110,779	建設関連製品
小 計	株 数 ・ 金 額	2,260	2,008	1,130	110,779	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<1.1%>	
合 計	株 数 ・ 金 額	29,753	26,970	—	9,901,317	
	銘 柄 数 < 比 率 >	69	66	—	<94.7%>	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2024年3月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	10,138,738	92.8
コール・ローン等、その他	791,645	7.2
投資信託財産総額	10,930,383	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 当期末における外貨建純資産（10,561,647千円）の投資信託財産総額（10,930,383千円）に対する比率は96.6%です。

* 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=149.32円、1英ポンド=190.13円、1スイスフラン=168.99円、1スウェーデンクローナ=14.40円、1ユーロ=162.58円、1香港ドル=19.09円、1ウォン=0.1123円、1豪ドル=97.95円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年3月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	11,325,453,991
コール・ローン等	641,146,802
株式(評価額)	10,138,738,951
未収入金	541,462,368
未取配当金	4,105,870
(B) 負債	874,723,560
未払金	405,123,550
未払解約金	469,600,000
未払利息	10
(C) 純資産総額(A-B)	10,450,730,431
元本	2,431,318,978
次期繰越損益金	8,019,411,453
(D) 受益権総口数	2,431,318,978口
1万口当たり基準価額(C/D)	42,984円

(注) 期首元本額は2,966,868,362円、期中追加設定元本額は204,696,959円、期中一部解約元本額は740,246,343円、1口当たり純資産額は4,2984円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・野村アクア投資 Bコース 2,293,562,520円
 ・野村アクア投資 Aコース 137,756,458円

○損益の状況 (2023年3月17日～2024年3月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	139,570,441
受取配当金	138,272,633
受取利息	1,278,967
その他収益金	50,223
支払利息	△ 31,382
(B) 有価証券売買損益	3,215,543,294
売買益	3,516,329,711
売買損	△ 300,786,417
(C) 保管費用等	△ 2,284,937
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,352,828,798
(E) 前期繰越損益金	6,266,033,271
(F) 追加信託差損益金	506,803,041
(G) 解約差損益金	△2,106,253,657
(H) 計(D+E+F+G)	8,019,411,453
次期繰越損益金(H)	8,019,411,453

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

* 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。